

No. 1 金沢八景駅周辺地区関連の案件概要

議第 1031 号 横浜国際港都建設計画通路の変更

名 称		位 置	面 積		備 考
番 号	通 路		幅 員	延 長	
5	金沢八景駅東西自由通路	金沢区瀬戸	5 m	約100m	
立体的な範囲		金沢区瀬戸地内において、立体的範囲を定める。(延長約30mの区間を対象)			

(内 容)

金沢八景駅周辺は、横浜市南部に位置し、京浜急行と金沢シーサイドラインが乗り入れる交通結節点であり、「横浜市都市計画マスタープラン・金沢区プラン」において、商業、業務、文化などの都市機能の集積を図り、地域拠点としての魅力化を図るとされています。特に、京急金沢八景駅の東側は、魅力ある商店街や駅前空間の形成を図るとしており、現在は、金沢八景駅東口地区土地区画整理事業による基盤整備が進められています。

金沢シーサイドラインは、昭和59年に都市計画決定しましたが、京急金沢八景駅周辺の用地確保が困難なことから、平成元年に暫定駅により開業しています。

その後、平成22年に金沢シーサイドラインの駅位置を京浜急行の線路上空から金沢八景駅東口地区土地区画整理事業の施行区域内に変更する都市計画変更を行い、駅西側へは自由通路で連絡し鉄道で分断されている京急金沢八景駅の東西の連絡強化や歩行者ネットワークの向上を図ることとしています。

今回、金沢シーサイドライン延伸事業にあわせて、金沢八景駅周辺の交通結節点機能の向上を図るため、京急金沢八景駅東西を連絡する通路を決定し、あわせて立体的な範囲を都市計画に定めま

議第 1032 号 横浜国際港都建設計画公園の変更

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	公園名			
特殊公園	7・2・801	金沢八景西公園	金沢区瀬戸	約 0.5ha	植栽、園路、旧宅、休憩所、柵等

(内 容)

金沢八景駅西側地区は、「横浜市都市計画マスタープラン・金沢区プラン」において、権現山から御伊勢山にかけての緑を背景に、茅葺きの旧円通寺客殿などが立地する風景は、金沢八景駅前にあって「ふるさと金沢」の一つの風景をつくってきた市民が広く目にする風景であり、保全を望む声が高い地区であるとされています。

江戸時代に建てられた横浜市認定歴史的建造物「木村家住宅主屋（旧円通寺客殿）」を中心に御伊勢山・権現山と一体となった歴史的風致や景観を保全していくため、特殊公園（風致公園）として決定します。